



(深田 天子の水公園)

暑中御見舞申し上げます

発行 / あさぎり町議会
編集 / 議会広報調査特別委員会
〒868-0422
熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265
E-mail syoki-gikai@asagiri.jp
印刷 / 協和印刷

主な内容

新議員の顔ぶれ	2P ~ 5P
六月定例会	6P ~ 7P
一般質問	9P ~ 13P
町民の声	14P

新議員の顔ぶれ



四月二十五日、あさぎり町が合併して初めての議会議員選挙が行なわれ、二十二名の顔ぶれが決まりました。五月二十五日には臨時議会が開催され、議長・副議長を選出するとともに常任委員会及び一部事務組合議会等議員の新構成が次ページのように決定いたしました。四〜五ページには各議員を紹介します。

就任挨拶



議長 尾方球三郎

先の議会に於いて、議長の職に就任させて頂きました。任の重さを満身で受け止め、的確な議会運営に研鑽を重ね



副議長 岩本 幸男

あさぎり町合併後最初の議会議員選挙が行なわれ、その後の議会に於いて副議長に選出頂きました岩本でございます。

選挙中にスローガンとして、農林業の振興、教育と福祉の充実、少子高齢化対策等

町民の皆様方の負託にお応えをし、議会の使命を果たす所存でございます。町行政の執行に關しましては、合併時の「新町建設計画」に基づき町づくりの基本方針が策定されておりませんが、国の三位一体の改革等により地方への財源の明確な手立てがなく、全国の多くの自治体は財政調整基金（町の貯金）の取り崩しの対応により平成十六年度の予算化を計っているのが現況で

す。我があさぎり町に於いても同様で、一般予算の五%の削減がなされております。今後のあさぎり町行政運営の各施策については、住民代表の合議体である議会が執行部と共に活力ある町づくりに全力を傾注する中で、取捨選択をしながら優先順位を見極め、揺るぎ無い町づくりに邁進する所存でございます。

の生活重視政策を掲げてきました。これらの実現に向けて誠実に取り組んでいきたいと思ひます。国は三位一体改革として、補助事業削減、税財源の地方への移譲、地方交付税の削減の三つを同時に進めようとしています。その影響で地方自治体は予算が組めない状況になっていきます。

行政・議会・町民それぞれが、無理・無駄をなくして、行財政改革に努めなければならないと思ひます。

人口の多い市町村は有利になりますが、少ない市町村はより厳しくなると予想されます。

議会は、行政の最高の議決機関であると同時に、チェック機関でもあり、議員は町民の代弁者であることを地方行政の第一の基本と考えています。

あさぎり町におきましても財政運営が厳しくなることを覚悟しなければなりません。

この基本を忠実に守りながら、町民の小さな声でも議会に反映し、議長と共に町民の皆様方の負託に応えていきたいと思ひます。皆様方の御指導御鞭撻をよろしく願ひします。

常任委員会等の新構成

建設経済常任委員会

委員長 永井梓
副委員長 溝口峰男
委員 中村嘉夫、田村茂久、奥原公久、田原久夫、岩田健一

厚生常任委員会

委員長 浦本秀正
副委員長 永村修一
委員 平田助弘、小見田和行、岩山保、岩本幸男

総務文教常任委員会

委員長 松本光弘
副委員長 宮原盛幸
委員 久保田久幸、鏡與久男、桑原武夫、橋爪和彦、豊永隆一、尾方球三郎

一部事務組合議会議員

公立多良木病院組合議員 松本光弘、久保田久男、豊永隆一
中村嘉夫、浦本秀正
人吉球磨広域行政組合議員 宮原盛幸、永村修一
上球磨消防組合議員 溝口峰男、岩水国昭
桑原武夫(議長)平田助弘、田原健一
川辺川総合土地改良事業組合議員 橋爪和彦、田原茂久

広報調査特別委員会

委員長 田原健一
副委員長 橋爪和彦
委員 鏡與、小見田和行、奥田公人

議会運営委員会

委員長 永村修一
副委員長 宮原盛幸
委員 松本光弘、浦本秀正、永井梓、溝口峰男

監査委員(議会選出) 榎山保

議員紹介

(議席順)



1番 奥田 公人
建設経済常任委員会委員

皆様方の深い御理解と御支援を頂きまして、誠にありがとうございますとございまして。長年の念願だった議員活動を展開する事が出来、重責を感じると共に「合併して良かった」と実感できる町づくりに「の為に、町民の皆様方の代弁者として、町の更なる発展と明るい未来を確信し、精一杯努めます。



6番 鏡 與
総務文教常任委員会委員

皆様方のご支援により議員に当選させて頂きました。心から感謝申し上げます。私は「合併のメリットが生かされる政策を」と訴えてきました。現下の厳しい経済環境の中、農林業・商工業の振興、雇用の拡大等を図る政策が必要と思えます。私はその為に全力を尽くしたいと考えます。



2番 樫山 保
厚生常任委員会委員

深田の樫山です。四月の町議選に於いて町民の皆様方に対し心から御礼申し上げます。初議会に於いてあさぎり町監査委員として決まってきました。公正で合理的かつ能率的な町の行政運営のため財政の適法性、効率性、有用性の増進に努めたいと思っております。又厚生常任委員として頑張りますのでよろしくお願致します。



7番 永井 梓
建設経済常任委員会委員長

免田地区の永井梓です。あさぎり町の第一回目の選挙に当選させて頂き、ここに御礼申し上げます。今後、住民に親しまれる議会を目指し、二期九年の議員体験を元に、あさぎり町発展と、議会活性化の向上をめざし、精一杯頑張りたいと思います。今後共宜しく御願致します。



3番 浦本 秀正
厚生常任委員会委員長

免田地区から出馬しました浦本秀正です。四月の選挙の際には早朝から遅くまでスピーカーを通し御迷惑をおかけしまして本当に申し訳ありませんでした。選挙期間中に公約に掲げました子育て支援の充実、高齢者の楽しめる町づくりの四点を頭に入れて頑張りたいと思っております。十二年間の公民館長の経験やボイスカウト指導者、社会教育で培った実績を活かしあさぎり町発展に向けた議員活動をめざします。どうぞよろしくお願致します。



8番 田原 茂久
建設経済常任委員会委員

四月の町議選で五七七票の大量の得票数で御支援いただいた田原茂久です。今後はこの貴重な一票一票を無にする事なく支援者の声を大切に町政へ反映させ特に行財政の健全化、農林業の振興、少子化対策等に力を入れ住民の生活の安定を図る事が大切だと思います。



4番 松本 光弘
総務文教常任委員会委員長

私は健全な町の発展は健全な財政のもとにしかないと考えています。まず財政問題にこの四年間を議員活動のすべてをかけて取り組みたいと考えています。現在町民一人当りの借金約一二〇万円を少しでも減し子孫が負う債務がすこしでもすくなくなる様努力致します。



9番 永村 修一
厚生常任委員会副委員長

今回選挙に際しましては、町民の皆様には本当にお世話になり衷心よりお礼申し上げます。選挙中にも訴えました、百の議論より一の実行に、私の議員活動の基本としながら、特に「町財政のより健全な執行、地場産業の活性化促進と、発展、更に少子高齢化に対する実のある政策の実行等を中心に据え誠心誠意我が町のあさぎり町のため努力するつもりであります。これ等のことを確実に実行することにより、町民全ての方々が現在未来を通じて、この町に生まれ住んで本当に良かったと言われるようにしたいと切に思うところであります。



5番 久保田 久男
総務文教常任委員会委員

須恵出身の久保田久男です。私の町づくりの目標は、この町に住んで良かった、生まれて良かったといってもらえるため全力で頑張ります。まずは町の交流人口を増やす施策、観光事業の推進によって農林業、商工業の発展につながるものと思えます。どうぞ、宜しくお願致します。



10番 小見田 和行
厚生常任委員会委員

暑中お見舞申し上げます。皆様の御支援をいただき、議席を得ることができましたものの、あさぎり町発展のために、「自分自身何が出来るだろうか」と、自問自答を繰り返しながら新米議員活動を送っています。厳しい財政事情ではありますが、微力ながら「夢あふれる町」創りに頑張ります。



11番 淵田 勇一
厚生常任委員会委員

議員に当選できませんでした事
に心から感謝申し上げます。
今、地方は予想しなかつた
厳しい時代に直面してい
ます。
しかし、この「ふるさと
に人あり、ふるさとに山河
あり、ふるさとに未来あり」
素晴らしい郷土の未来を築
くため郷土愛に燃えて正面
から責任をもった活動をし
ていきます。



16番 豊永 隆一
総務文教常任委員会委員

皆様方のご支援のもと、
旧上村時代から通算で三期
目を迎えることができまし
た。地場産業である農業を
軸として教育、福祉の充実
を推し進めていく所存でこ
ざいます。これからも「よ
い郷土、よい子にのこす、
よい政治」をモットーに頑
張っていきます。



12番 岩水 国昭
建設経済常任委員会委員

こんにちは、あさぎり町
深田仁王出身の岩水国昭で
す。職業は農業で、水稲と
施設園芸を営んでいます。
これから均衡ある町作りの
ため、一生懸命頑張つて行
きたいと思っております。今
後ともよろしくお願いいた
します。



17番 宮原 盛幸
総務文教常任委員会副委員長

私は負担の少ない社会を
創ることが地方自治体の目
指す方向だと常に思ってい
ます。時代の流れと共に物
事に対する考え方、価値観
等は変わるものでしょう
が、新鮮な発想と柔軟な判
断に心がけ、未来のある
「あさぎり町」を創るため
全力をつくします。



13番 溝口 峰男
建設経済常任委員会副委員長

私は、夢づくり・人づく
り・ふるさとづくりを皆様
に約束をしました。
お一人お一人の声を大事
にし、五年先・十年先を見
すえた施策の実現に努力し
てまいります。厳しい財政
の中にあっても、合併して
よかった、住んでよかった
と言われる町、沢山の子供
達の元気な声があちこちか
ら聞こえてくる町にするた
めに頑張ります。



18番 平田 助弘
厚生常任委員会委員

私は、須恵地区でも一番
山付に住んでおり、用ある
事に山付から、中心部へと
出かけて来ております。中
心部と周辺部に格差が生じ
ないよう見つめて参りたい
と思います。又農林業の安
定した所得こそ、商工業の
活性化につながると思いま
す。一生懸命頑張ります。
よろしくお願いします。



14番 橋爪 和彦
総務文教常任委員会委員

禅語に無常迅速というの
があります。人生はあっ
という間という意味です。あ
さぎり町にとって最も大切
なこれからの4年間が、無
為・無策のうちにあつとい
う間とならないように。一
日一日を無駄にせず頑張
る覚悟です。御支援をお願い
します。



19番 桑原 武夫
総務文教常任委員会委員

本委員会の所掌する総務関係で
は、税政、財政、財産管理など多
岐にわたる。特に財政状況は長期
的展望にたつて健全財政を堅持し
つつ、地方自治の本旨である最小
の経費で最大の効果を上げるよう
努めなければなりません。
文教関係では、ソフト面の充実
に意を注ぎ、生涯学習の推進。又
学校教育においては情報時代に対
応できるOA機器などの導入など、
時代を先どりした行政の推進
に議論を深めてまいりたいと思
います。



15番 田原 健一
建設経済常任委員会委員

あかるく、さわやかに
生きることを生活信条とし
て、(き)会人として、常に
町民の皆様の機微を察し、
道(みち)に適う議員活動に努
め、もって町民の皆様の
負託に応えることを誓い
ます。
どうか気軽に声をかけて
下さい。どうか皆様の声を
きかせて下さい。



20番 中村 嘉夫
建設経済常任委員会委員

岡原地区の中村です。新
町あさぎり町議会に、席を
置く事になり、身が引き締
まる思いです。建設常任委
員会と公立多良木病院組合
議会に所属して居ます。
機会が有りましたら、気
軽に声を掛けて下さい。皆
様の声を行政に反映し、明
るく住み良い、町作りに、
微力ながら努力します。

審議の場に!!

『学校規模等適正化審議会』 条例の制度を可決

所掌事項

第二条

審議会は、あさぎり町教育委員会の諮問に応じ、学校規模及び通学区並びに学校施設等の適正化に関し調査審議し答申するほか、自ら教育委員会に建議することが出来る。

組織

第三条

審議会は委員30人以内をもって組織し次に掲げるものの内から教育委員会が委嘱する

- (1) 各学校の保護者を代表するもの
- (2) 各学校通学区の区長を代表するもの
- (3) 学校長を代表するもの
- (4) 地域審議会を代表するもの
- (5) 知識経験を有するもの、その他教育委員会が必要と認めるもの

その他、今回制定された主な条例と概要

あさぎり町生活安全条例

- ・安全で住みよい地域社会の実現を図るため
- #### あさぎり町不当要求行為等の防止に関する条例
- ・あさぎり町の事務事業に対するあらゆる不当要求行為及び暴力的要求行為に対処するため

あさぎり町 B & G 海洋センター条例の一部改正

- ・閉館日の変更
月曜日から火曜日へ

あさぎり町国民健康保険税条例の一部改正

- ・国民健康保険の被保険者に係る所得割額の掛率の変更 6.5%から9.0%へ
- ・介護納付金課税被保険者に係る所得割額の掛け率の変更 0.89%から1.25%へ

提出した意見書

- (1) 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- (2) 熊本県で乳幼児医療費無料化を就学前まで行なうことを求める意見書
- (3) 郵政事業の民営化に反対する意見書

六月定例議会

第二回六月定例議会は六月十五日から十八日までの四日間の日程で開催されました。

一般質問では十名が登壇し町長の選挙公約の具体性、行財政改革の推進などについて町長の考えを質しました。

上程された議案は、あさぎり町生活安全条例など条例案件十件、平成十六年度一般会計予算ほか四会計の補正予算など計二十八件で全議案を細部にわたって審議し、原案どおり可決しました。なお三月定例会以降七件の陳情、要望を受け付け、三件については関係機関に意見書を提出しました。

中 学 校 統 合 が



岡原中学校

主な補正予算

一般会計（第一号）

- 地域新エネルギービジョン策定等事業費として748万7千円
- 野菜構造改革促進特別対策事業として99万円
- 新規作物導入補助金として30万円
- 農業振興事業補助金として200万円
- あさぎり町観光物産振興協会助成金として28万5千円
- 向町河川公園便所建設工事関連費として2050万円
- 公民分館等施設整備補助金として60万円

特別会計

- 国民健康保険
2914万4千円を追加し総額18億4384万4千円
- 老人保険医療
475万7千円を追加し、総額18億9335万7千円
- 簡易水道事業
370万円を追加し、総額4億550万円
- 下水道事業
4320万円を減じ、総額15億1020万円

3月定例会で議決された

平成16年度一般会計予算

総額103億9,770万円

知りたい予算

(1万円未満は切り捨て)

議会費

議員報酬	7,368万円
	(対前年度1億3,430万円減)
議長交際費	50万円(対前年度50万円減)

総務費

町長交際費	250万円
	(対前年度100万円減)
支所移転に伴う経費	4,592万円
議場改修・東庁舎改築費	1,455万円
夢まつり補助金	1,800万円

民生費

社会福祉協議会補助金	6,618万円
福祉乗り合いタクシー補助金	745万円
介護予防事業費	3,725万円
敬老年金	1,530万円
老人施設入所措置費	7,311万円
重度心身障害者医療費助成	2,400万円
身体障害者施設訓練等支援費	3,492万円
身体障害者福祉年金給付	497万円
知的障害者施設訓練等支援費	1億1,488万円
ヘルシーランド管理運営委託料	4,353万円
温泉交流センター運営委託料	4,967万円
放課後児童健全育成事業委託料	760万円
乳幼児医療事業費	3,600万円
保育所関係経費	7億8,250万円

衛生費

葬祭場費負担金	3,184万円
ごみ処理費負担金	1億805万円
し尿処理費負担金	2,094万円

農林水産業費

中山間地域直接支払交付金	2,715万円
転作助成金	2,776万円
機械導入補助金	1,000万円
堆肥舎建設補助金	3,000万円
ふるさと農道事業	3,105万円
川辺川関係経費	1,835万円
緊急畑地帯総合整備	2,279万円
担い手育成基盤整備事業費	1億850万円
中山間地域総合整備	6,225万円
造林事業	2,971万円
公有林整備事業費	4,575万円
林道新設改良5路線	1億4,862万円

商工観光費

ふるさと振興社助成金	1,256万円
定住促進事業交付金	500万円

土木費

道路新設改良(単独分11路線)	4億4,358万円
"(補助事業分5路線)	3億6,818万円
住宅費(建設9、改修26、解体4)	2億1,232万円

消防費

上球磨消防組合負担金	2億3,811万円
------------	-----------

教育費

体育協会補助金	1,023万円
球磨川マラソン補助金	300万円
森園カントリーパーク事業	9,365万円
給食センター基本設計委託料	500万円

他会計への繰出金

老人保険医療特別会計へ	1億3,764万円	介護保険特別会計へ	1億8,114万円
国民健康保険特別会計へ	2億1,259万円	簡易水道事業特別会計へ	1億8,977万円
下水道事業特別会計へ	4億5,768万円		

公約の具体的取組みは

新町建設計画構想から



栗田 勇一議員

問 予算のムダ使いにならぬよう願う。つぎに若者の働く場確保はどうすすめているか。

町長 企業誘致は困難、むしろ町の産業に力を入れるべき、一人雇用した企業主に十萬円の雇用助成もしている。又若者の働く場は他力本願でなく自分の考えと行動が基本。

問 町内には暴力団が存在するの、あるとすれば、締め出す考えはないか。

町長 組織はあるだろう、しかし何も起こさないと生活しておられるので決めつけられない。行動を起こしにくい条例を今回お願いしている。

問 水道普及率八四・三%の対策、旧岡原村のパイプ付着物質は人体に影響ないか。町内全水源ごとに水質は安全か、清願寺ダム堆積土砂から検出されたヒ素は飲料水に問題は無いのか。

町長 表流水利用地は地下水に切替える。岡原の白い粉付着はカルシウム等が熱で結晶するもので水質不良ではない。ダムのヒ素は水に溶け出す心配はない。

水道課長 水道水以外の水使用者は把握していない。保健所で行っている。町水道への切替えを推進している。(全水源の水質調査説明異常なし)
問 飲料水取扱いには細心の注意をお願いしたい。

問 今年度から公立保育所運営費が一般財源化されたということは、あえて自治体で保育所を抱える必要はなく、民間でやれることは民間でやれ

一般会計からの持ち出し分は一億七九二一萬四〇八〇円にもなる。一方仮に四保育所全てを民間に払い下げた場合の町の負担は五三三〇萬八〇一六円で、約一億二六〇〇万円の経費節減になる。保育所を町で運営するより三割の経費で済む勘定になるが、払い下げた場合は職員の取り扱いが問題になる。

町立保育所を逐次払い下げる考えはないか

よく調べた上で答えを出させていただく



田原 健一議員

とだと思
う。福祉課
からいた
だいた資
料から試
算する
と、町立
保育所を
運営する
ための一

そこで、まず上第一と岡原保育所の二ヶ所を考えるなど逐次手がけることにより職員である保育士は派遣あるいは臨時保育士の人員のところに吸収でき、職員の取り扱いも

ほぼクリアできる。又、土地建物も一緒に払い下げることににより町の収入確保につながる。数字の上からも、

また人員のやりくりも可能であることから実行に移すべきだと思いが町長の考えは。
町長 職員の問題、施設をどうするか、保育所を継がれる人がおられるか、それから保護者との関係など多くの問題がある。将来、恐らくそういう時期が来るかなと思うが現在のところまだそこまでの考えに至っていない。
問 職員の件は逐次手がけることにより問題ないと思うが。

町長 担当課と打ち合わせて可能かどうか、よく調査の上答えを出したい。

問 町長も企業人としての経験から、民間でできることは民間でという発想でいてもらいたい。やればできるといふことで前向きに検討し、少しでも町の負担が軽くなるよう町運営に努めてほしい。

農業センターについて

地域農業振興協議会で協議の予定



小見田和行議員

問 あさぎり町の基幹産業である農業も価格の低迷、担い手不足、農業従事者の高齢化など多くの問題を抱えている。国際的には、WTO、FTA交渉も気がかりの中、これらに対応する取組みが早急に必要であると思う。

その様な中にあり、新町建設計画に「農業センター」設立の計画があり、その主要事業の概要に、農業公社設立、農業人材バンク制度、農業機械のリース機関として、農業技術支援や新規就農支援及び販売戦略の拠点としての活用とあり、非常に期待のもてる計画と思うが、現在、どれくらい進んでいるのか、又、現在その事業と類似する活動を

行っている「あさぎり町シルバー人材センター」「アグリサービスあさぎり」「アグリトラスト」他に、点在する農業受託部会等があり、地域に貢献しているものの基盤は脆弱で、これらの地域支援型組織の育成強化を図る為に「農業センター」との連携、統合も考えられるがどう考えるか。

町長 あさぎり地域農業振興協議会の十六年度の事業計画の中に農業公社への取り組みについて協議する予定になっている。また類似団体との統合は、しばらく活動状況などを見ながら判断したい。

問 またJA球磨が設置を行った「農業支援センター」の設置目的も「農業センター」と同一と思うが「農業センター」を立ち上げた際、事業主体はどちらが担い双方の役割をどう考えるか。

町長 農業支援センターは連

携する組織も人吉球磨全体で規模や運営方法に大きな違いがあると判断しているが今後十分協議し事業主体もJA、議会と話し合っていく。

のためのプロジェクトチームの設置を希望するが、どう考えるか。

町長 早急に立ち上げて検討していく必要があると考える。

岡原簡易水道は安全か

国の水質基準値内にあり安全



岩水 国昭議員

問 岡原北を賄う岡原簡易水道（受益者約五百戸）の水道水を煮沸すると、白い粒子が発生し、これが給水器等の配管が詰まり故障の原因になっていると聞き及んでいる。受益者の中からは水道水の安全性に不安や疑問の声が聞かれる。不安を払拭するために何かの対策を必要と思われるが、次の点について伺う。

のかが。

町長 国の基準はすべてパスして安全である。しかし比較的に硬度が高いので、加熱すれば水質中のミネラル分がほかの成分と結合し結晶化、スケール化するそうである。

問 硬度が高いことでスケール化のひとつといわれているが、その除去方法、対策はあるのか。

町長 岡原村の時にも検討されている。いずれも高い建設費、処理薬品等でむずかしく今日に至っている。あさぎり町になって、いろいろ探すうちに、四千万円位で、できる装置が見つかり、これについ

て現在検討している。

問 具体的にはどのような方法か。

水道課長 現在検討しているのが、イオン交換法といって、食塩を利用して硬度を下げていく方法である。大分大学の医学部に設置しており、現地を見て来たが施設の、単純構造で非常に調整しやすい方法である。

問 工事に取り組む時期はいつころか。

水道課長 浄水方法を変更する認可変更が必要であるので、認可には若干時間がかかるようだ。本年度内にできるが微妙なところだ。

福祉乗り合いタクシーはいかされているか。

問 交通弱者の交通手段を便利にするため、福祉乗り合いタクシーが運行をして2ヶ月を経過した。まだ利用者が少ないようであるが、今後利用者増への努力は。

町長 町内を13路線で運行している。停留所の看板設置、チラシとか放送等で町民への周知徹底をしていき利用者増を計りたい。

ケーブルテレビ計画と財政の関係について

ケーブルテレビ計画は優先的に



宮原 盛幸議員

ないのか。もし生じた場合はうまく対応できるのか。

企画財政課長 総事業費約二十五億円。そのうち国庫補助金六億円、町債対象（合併特例債を想定）十五億二千万円、一般財源三億八千万円。また町債の実質償還は八千万円と想定している。財政とのミスマッチは避けるように計画する。

問 町長はいろんな事業を計画されているが現在の財政状態の中で全てができるものではない。ケーブルテレビ計画は庁舎建設、陸上競技場建設、中学校統合などより優先的に実現させたいのか。また合併特例債の意味を町民の皆様の中にはよく理解されていない人も多いため、特例債というものはどういふものであるか知らせるべきだ。

町長 ケーブルテレビ計画は優先的にやりたい。特例債のことは町民に知らせたい。

問 そこでケーブルテレビ計画はどのような資金を利用されるのか。またその償還計画はできているのか。将来の財政計画とのミスマッチは生じ

民の皆様が両手を上げて賛成するようなことでなければならぬ。その点を留意して欲しい。

ところで岡原地区の簡易水道の事であるが、アンモニアを中和したらカルシウムが固まる。それでは希硫酸を投入

あさぎり町長期財政計画は

10年スパンの財政計画を立てる



松本 光弘議員

そこで基本計画に基づく長期財政計画を執行部は議会に示すべきである。

その計画をもとに新規事業の緊急性、必要性、妥当性について、いま一度慎重な検討が必要だと考えるが

町長 新町計画に示されている事業は合併特例債の対象にするために計画したものだ。実際には検討委員会をつくりながら計画する。

企画財政課長 国は交付税については、十六年、十七年、十八年度で約三十%削減することに伴い町の財政が大変窮屈になる。又預金である財政

調整基金も十五年度末で十五億円あるが、今年度六億七〇〇〇万円の取り崩しが必要である。

そんな財政状況であるが地域住民の福祉向上を図る施策も必要だ。

問 計算すると、町の債務は、本町の水田を全部売ってもたらないし毎年五億円返済しても五十年はかかる。本町の三年間の財政計画では経常収支比率は十五年八三・七%十六年八五・九%十七年度八九・三%と年を追うことに伸びていく。そこで早急に長期財政計画を立て、新規事業は本町の財政規模に合った事業なのか、身に合ったものなのか、その辺の審議のできる物差となる正確な計画を議会に示すべきと考えるが。

町長 合併特例債を使えるのは十年間という期限がある。合併特例債を使えるのが合併の大きな特典である。だから住民の必要とする物を作る作業をしている。

企画財政課長 財政的に大変危機的状況に陥っていることは認識している。そこでぜひ十年スパンの財政計画を立て町の将来を見つめる。

どうする役場窓口業務の時間延長は

効率的な運営を心がけたい

永井 梓議員



い。

問 時間延長は、保育園や個人病院でも行われている。本庁のすべてではなく、試行的に課の延長の考えはないか。

町長 税務課、町民課は殆んど午後七時迄残業している。住民から事前に連絡があれば無駄にならない。今の所、時間延長業務は考えていない。

問 住民サービス向上のため、窓口業務の時間延長は是非必要と思っているが、町として行政サービス業務を実施する計画は、また導入するとなると職員の配置の問題もあると思うが、それらを含め、今後の進め方を問う。すでに人吉市、錦町、湯前町では実施されているが。

町長 三市町でも実施されているが、利用者が非常に少ない現状だ。何時に何人利用があるか分からないのを待つより、住民から待っていて欲しいという問い合わせに対応した方がいいと思う。あさぎり町には、十九課あり、開庁しておくとは人件費の無駄であり、効率的な運営に心がけた

福祉課長 精神保健法の一部改正により、業務の一部が市町村に移行したので、精神障害者の生活支援をどのように支援するか今後の課題であり、これから整備していく。居宅生活支援サービスの利用条件の申請にかかわらず、当事者や、家族の声を的確に、

迅速に対応し業務を遂行していききたい。

問 精神障害者の方も、年齢が増していく中で、家族も看きれない部分もあり、グループホーム等の制度があると聞

くが、その取り組みは。
町長 そういう申請が出された時は、周辺住民の同意も必要であるし、本場に必要施設であれば、応援をしていく事が重要であろう。

地域審議会に自主財源を

様子を見ながら考えていく

橋爪 和彦議員



問 合併で各地域の活力や文化やコミュニティーが損なわれる恐れがある。そこで、旧

五か町村の長い歴史からくる微妙な違いを生かし、地域固有の人材や資源を活用して、自由で独創的かつ自主的な活性化を推進し、地域ごとに異なった町づくりを目指すことで、町全体の活性化と均衡ある発展が望めると思う。具体的には、条例を改正し、地域

審議会にソフト面限定で自由に使える補助金を一定額支出して、住民の自主活動がやりやすい体制を作りたい。財源は、普通交付税で我が町づくり支援事業分として財政措置が設定されているはずだ。

町長 理解できるが、地域審議会は合併後周辺部が寂れないように各種町づくりの基本に関して町長の諮問に応じて審議し意見を述べるといふ本来の役割を優先し、そのことは今後の検討課題としたい。私としては、各区の役員と話し合い、全町職員のマンパワーを生かした元気の出る区

を作ることで全体の発展につなげたい。そういう形の中で町づくり交付金、公布要綱みたいなものを定めたいと思う。

企画財政課長 交付金「我が町づくり支援事業分」は昨年度約二千万円算入されたが、各種町づくり事業等に約二千五百万円投入している。

民営化でスリムな行政を 行財政改革委員会に諮る

問 町営の救護施設は県支出金で賄われており町負担は殆どないとのことだが、町営保育園を四園とも民営化すると一億二千万円余の負担減になるとの田原議員の試算もあるし社会の私立保育園に対する信頼も厚い。民営化でスリムな行政の実現を目指し、町立の救護施設・保育園共に行財政改革委員会の俎板に載せて審議してもらいたい。

町長 民営化が職員減に直結しないから直ぐに町の負担減にはならないし多くの難しい面もあるが保育園は行財政改革委で練ってもらう。救護施設の民営化は考えていない。

中学校統合問題に対する考えは

審議会の中で練り上げていく



田原 茂久議員

問 中学校統合については町村合併の協定項目の中でも検討され、合併後も中学校をどこにつくるかによって、新庁舎の位置も変わるとも言われている。今春、中学校に入学した生徒は、上五十二人、免田七十七人、岡原三十九人、深田二十六人、須恵十二人の計百九十九人。須恵中では男女合計の十二人でスポーツ面で一チームつくるのでさえ困難している。統合にもメリット、デメリットがあると思うが町長の考えは。

町長 統合問題についてはこの一年間で何度か出てきた。生徒数も減少し危機的な状況でありメリット・デメリットがあると思うが統合していくべきである。町としては予断

を持って進むとやりづらい。町で指図すると必ず反発が出てくる。教育行政については一線を画くしてある部分がある。今後は学校規模等適正化審議会条例を制定し、三十名以内の委員で練り上げ煮詰めた議論を進めていきたい。

問 教育委員会としてのたたき台はつくっていないのか。

教育長 昨年からのいろんな意見を賜り、また通学区域検討部会において種々先進地の研修も含めて検討している。今後は学校規模等適正化審議会条例が制定されると十分検討し教育委員会の方針を決めて町長の方に具申をしていく。

問 四月に町立保育所の派遣保育士臨時を含む職員の異動があったが上第一保育所で五名、上第二保育所で四名、須恵保育所で五名、岡原一名の大異動があり当初、知らない保育士等が多かったので園児は戸惑いと共に不安感や精神的な動揺があったと聞いてい

る。保育所の場合是一回の異動で一人か二人位が適当では、又地元の保育士を置いてほしいとの要望もあるが。

町長 国庫負担金の一般財源化に伴い審議員には直属の部下がいないので四名を所長と

住所と土地所在地の相違は

不都合が生じない様対処



溝口 峰男議員

問 上北の神殿原区、平和区に住民票に記載されている住所と、土地、家屋の謄本に記載されている所在地が一致しない所が二十八戸ある。住宅金融公庫の手続き等に支障が

でているが、なぜこの様な事になったのか、またその解決策はどうするのか。

町長 合併にともなう大字の取り扱いで、法務局が定めている地番地域では上東に属する部分から、土地は上東であ

してあてた。今まではらばらであった職員を定数定員に合わせ五名、九名、五名、五名の形にあわせた。同じ所に長くいるといろんな弊害が出てくる。

つても住居表示は行政区で別れており上北となっているという相違が生じた。住民に対する説明会を実施し不都合が生じないように対処していきたい。

レジオネラ菌発生の原因は

問 ヘルシーランドの乾式側のうたせ湯から昨年レジオネラ菌が発生し現在使用中止となっているがその原因と改善策はどうようにするのか。

町長 昨年八月に人吉保健所の立入検査でレジオネラ菌が打たせ湯から発見されたので使用中止とし原因について調査をしたが明確にはわかっていない。打たせ湯には循環湯

を使用していたが、保健所の指摘で循環湯が使用できなくなった為に配管等の改修が必要となった。また塩素剤の投入器をろ過器前に取りつける事。管理マニュアルの作成をする事の指摘があったので打たせ湯を薬草風呂に変更するなど早急に改善策をまとめ使用開始にもっていききたい。

「うつ病」患者に対する支援策は

問 「うつ病」患者に対する実態を把握しているか。また「うつ病」患者は年々増加しているが、その原因はストレスが大きく影響しているという。励ましの言葉や激励としてはいけない病気が、安静と薬で治る病気である。しかしこの様な知識や認識が患者の回りにないため救われない患者も多いと聞か行政としてどの様な支援体制を構築するのかが。

町長 実態については把握していないが、改めて「うつ病」に対する認識をもった。保健所と一体となり実態を把握し、家族会や患者の会の方々と一緒になって一人一人の患者の方に対する支援を積極的に推進していきたい。

表紙の説明



(天子の水公園)

天子の水公園は深田地区草津山集落内にあります。その昔、熊襲征伐のため下向された景行天皇がご愛飲なされたという伝説から天子の水と呼ばれ、熊本名水百選にも選ばれた湧水一帯を、旧深田村が整備したものです。

毎年6月第一日曜日に花しょうぶ祭が開催され町内外から訪れる花見客で賑わいます。

編集後記

七月十一日、参議院選挙が終った。

あさぎり町はすこい!!
これでわが町から衆議院議員、参議院議員が誕生した。こんな小さな町で、こんなところがあるだろうか。合併して、新しい町長のもと、一年数ヶ月が経過した。この度、新しく22名の議員が選出されたことにより、こ

れからが真のスタートとなる。若い二人の国会議員の先生方のお力添えのもと、町執行部と議員一人ひとりが「若いまち、豊かなまち、夢ふくらむまち」の実現にむけて、知恵を出し、汗を流す時である。さて、今回から新しく6名の委員で「議会だより」の編集にあたります。何せ素人ばかりですので、町民の皆様にご満足いただける紙面づくりができるか些か不安ですが精査した内容を、できるだけ分かりやすくお伝えすることに意を留めたいと思います。



委員長 田原 健一

どうかご愛読の上、ご意見を賜れば幸甚に存じます。

町民の 声



あさぎり町の誕生から、はや一年三ヶ月が経過しました。旧五か町村の垣根も取れて一体感が生まれ今後の発展を期待しております。合併によるメリット、デメリットいろいろと意見は分

地域との一体感を目指して

かれるところでしょうが、地域が一体となって町の発展に向けて取り組む前向きな気持ちが大切であると思いい郵便局長としての立場、

おりますが、民営化となつた場合どうなるでしょうか？収益重視の民間会社となれば、不採算地域の局は閉鎖され、地域住民の方へ

深田植の里 松本 智宏

一町民としての立場でも微力ながらお力添えになればと地域貢献に参画しております。昨今、郵政民営化問題がクローズアップされて

の利便性は低下し、特に交通弱者である高齢者にとって不便となる事が予想されます。これからの高齢化社会、少子化社会において郵

便局の存在は地域の方にとって価値あるものにしていかなければと思っております。地域にお役に立てる郵便局として自治体、議会、住民の皆様と連携を図りながら、地域の活性化の一助となればと考えております。六月議会において、地域の声をご審議いただき、民営化反対の意見書を探択いただいた事に感謝申し上げます。今後あさぎり町の益々の発展と議会の皆様方の町政への貢献に期待いたします。